



金沢

# 国際親善ニュース



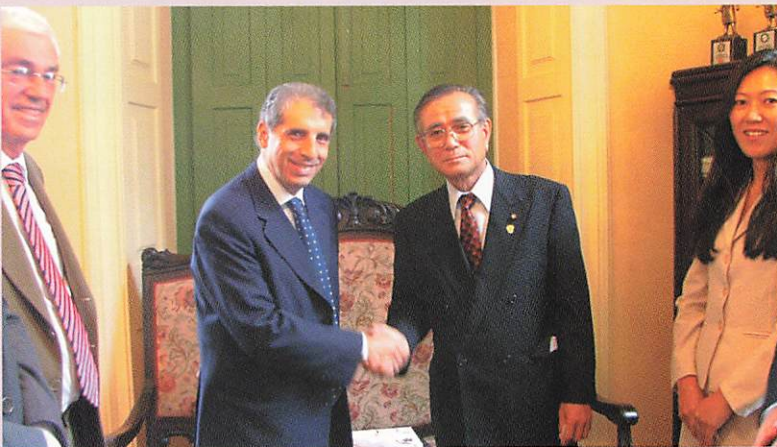
## バッファロー市 姉妹都市提携45周年

オルブライト=ノックス美術館コレクション展  
「パッション・コンプレックス」記念レセプション  
(7月 金沢にて)

## イルクーツク市 姉妹都市提携40周年



さらなる友情を誓う  
ヤクボフスキー イルクーツク市長と  
山出 金沢市長  
(5月 金沢にて)



## ポルト・アレグレ市 姉妹都市提携40周年

固い握手を交わすフォガサ ポルトアレグレ市長と  
宮保 金沢市議会議長(当時)  
(11月 ポルトアレグレにて)

# 金沢への観光誘客と経済交流促進に向けて！

## 中国・韓国訪問金沢市代表团派遣

2007年5月20日から30日にかけて、山出保金沢市長、宮保喜一金沢市議会議長をはじめとする代表团一行（累計20名）が、市民レベルでの友情深化と相互貢献につながる施策策定を目的に姉妹都市の中国蘇州市や、友好交流都市の大連市を、また、金沢港の振興を目的に韓国ソウル市・釜山市を訪問し、金沢の総合的な魅力発信に努めました。金沢市長一行の主な訪問日程・概要は、以下のとおりです。

### 5月21日（月）

- ・蘇州市博物館新館 訪問
- ・「唐人生活」雑誌社訪問
- ・曹福龍蘇州市常務副市長 表敬訪問
- ・歴史的まちなみ保存／修景区「山塘街」視察
- ・2006年度両市姉妹都市提携25周年を記念して金沢市より寄贈した「99本の桜友誼林」植樹記念式典参加。

### 5月22日（火）

- ・蘇州日报社、蘇州廣播電視总台（それぞれ北國新聞社、(株)テレビ金沢と姉妹関係）訪問
- ・蘇州市東園内「金沢庭園」視察
- ・現地進出企業（石川可鍛製鉄(株)と(株)金田鉄工の現地法人）訪問
- ・呉文元蘇州市人民代表大会常務委員会副主任（蘇州市議会副議長）表敬訪問

### 5月23日（水）

- ・蘇州寒山寺訪問
- ・蘇州工芸美術職業技術学院（市内水墨画団体「北水会」と交流関係）訪問
- ・金海龍中国共産党蘇州市吳中区委員会書記(元、蘇州市外事弁公室主任) 表敬訪問
- ・蘇州市青年連合会（金沢JCと提携関係）訪問
- ・上海市へ移動後、国際観光推進機構JNTO上海観光宣伝事務所 訪問

### 5月24日（木）

- ・大連市へ移動後、趙亜平大連大学校務委員会主任(元、大連大学長)との懇談
- ・夏徳仁大連市長 表敬訪問
- ・大連工業大学 訪問



- ・大連市主催「2007中国大連ジャパンウィーク」開幕式 出席

### 5月25日（金）

- ・「2007中国大連・日本地方首脳サミット」にて金沢市長が講演（於：大連フラマホテル）
- ・「2007中国大連ジャパンウィーク『金沢の日』」を金沢市主催で開催、記念式典（於：ホテル日航大連）
- ・大連港視察、大連市主催「第18回大連アカシアまつり」開幕式出席

### 5月26日（土）

- ・北京市へ移動後、建設中の2008北京オリンピック会場 視察
- ・韋新勝中国教育部副部長（=日本の文部科学副大臣に相当）を表敬訪問・懇談

### 5月27日（日）

- ・韓国ソウル市へ移動、金沢港振興協会が主催するポートセールス訪問団と合流

### 5月28日（月）

- ・「スーパーラック SHIPPING社」幹部との懇談
- ・李垠韓国港湾公社(韓国政府海洋水産部海運物流局)次官 表敬訪問
- ・国際観光推進機構JNTOソウル事務所訪問
- ・日本通運(株)ソウル事務所長との懇談、「高麗海運」本社、「興亜海運」営業本部 訪問後、釜山市入り

### 5月29日（火）

- ・釜山港海上視察、「韓進海運」釜山事務所 訪問、釜山港湾公社 表敬訪問、釜山新港視察



# バッファロー 【アメリカ合衆国】



表敬訪問後の記念撮影

**提携** 1962年（昭和37年）

**人口** 28万人

**面積** 105km<sup>2</sup>

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。「五大湖の女王都市」とも呼ばれ、オルブライト・ノックス美術館、1846年創立の州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が6つ現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

## 姉妹都市提携45周年代表団来沢

2007年7月29日から8月4日まで、バッファロー市代表団が本市を訪問しました。2007年は、両市の姉妹都市提携45周年の節目の年にあたり、8月1日から、バッファロー市にある世界的に有名な現代美術館、オルブライト=ノックス美術館のコレクション展『パッション・コンプレックス』が金沢21世紀美術館で開催されるのに合わせて、代表団が本市を訪れることになったものです。公務の都合により、ブラウン・バッファロー市長の来訪はかないませんでした。市長代理としてデイビッド・グランビル姉妹都市関係市長補佐、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長以下9名が来訪し、31日に美術館で開催された同コレクション展の記念レセプションに出席、記念すべき展覧会の開幕を共に祝いました。

滞在中には、金沢市長表敬のほか、バッファロー市内のスクール71の姉妹校である湯涌芝原小中学校や加賀宝生子ども塾生の合宿所を訪問し、子供達との交流を深めました。

また、団員の中には、バッファロー・フィルハーモニック交響楽団所属のクラリネット奏者サルヴァト



湯涌芝原小中学校にて

ア・アンドリーナ氏とバッファロー市内のパレエ学校ネグリアパレエアーティスト芸術監督のセルジオ・ネグリア氏もおり、滞在中、市内中

高生を対象に、それぞれジャズとバレエのワークショップを開催しました。受講した子供達は、プロのアーティストからの直々の指導に熱心に耳を傾けていました。

一行は、一週間の滞在プログラムを無事にこなし、バッファローへと戻って行きました。

## 金沢市議会姉妹都市友好訪問団 訪問

2007年11月14日から16日にかけて、宮保喜一金沢市議会議長（金沢市姉妹都市交流委員長）を団長とする金沢市議



ブラウン市長、道井会長との記念撮影

会姉妹都市友好訪問団一行5名が、提携45周年を迎えるバッファロー市を訪れました。一行は、バイロン・W・ブラウン市長、デイビッド・フランザック議長らを表敬し、45周年の節目を共に祝うとともに、今後の姉妹都市交流について有意義な懇談を行いました。また、道井孝子 バッファロー・金沢姉妹都市委員会会長と同委員会メンバーとも懇談し、今後の交流拡大について意見交換を行いました。

滞在中には、日本庭園や歴史博物館が位置するデラウェア公園やバッファロー・フィルハーモニック交響楽団の本拠地であるクレインハンス音楽堂などを視察し、引き続き、次の訪問先であるサンパウロ市、ポルトアレグレ市へと向かいました。

# イルクーツク [ロシア連邦]



中学生親善団の表敬訪問後の記念撮影

- 提携** 1967年(昭和42年)
- 人口** 58万人
- 面積** 302km<sup>2</sup>

バイカル湖(世界遺産)の南にある中部シベリア最大の都市で、イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達しているほか、高級毛皮製品などの伝統産業も盛ん。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

## 姉妹都市提携40周年代表団来沢

2007年5月7日から11日にかけて、イルクーツク市代表団を迎え、提携40周年記念式典を開催しました。式典では、「友好交流に関する合意書」が調印されるとともに、交流の発展に対する功績を称え、ヤクボフスキー市長へ「金沢市特別名誉市民証」が贈呈されました。またヤクボフスキー市長より山出市長に対して「イルクーツク市名誉市民称号」(日本人としては2人目)が授与されるというサプライズもありました。このほか、一行は、市内視察等も行った後、帰国しました。

[提携40周年代表団] 4名

- ヤクボフスキー・ウラジーミル(市長)
- ジューブル・ガリーナ(副市長)
- エゴロフ・アレクセイ(市議会議員)
- マストラコワ・ナジェジダ(通訳)

[主な日程]

- 5/7 来沢 5/8 市内視察(21美、金沢駅等)
- 5/9 表敬訪問、「提携40周年記念式典」
- 5/10 市内視察等 5/11 離沢

## ようこそ! 中学生親善団の皆さん!!

2007年7月5日から13日まで、ツヴィグン・イリーナイルクーツク市議会議員を団長とする親善団20名が来沢しました。一行は、同じ世代の青少年と交流するため、野田中学校及び鳴和中学校を訪問し、両校の生徒らとの親睦を深めました。また、交流会などを通じて多くの方々と触れ合うとともに、市内視察や日本文化体験なども行いました。ホームステイでは、ホスト家庭の一員として、楽しい一時を過ごしました。最終日に開催されたホスト家庭を交えての送別会では、両者ともに涙をこらえきれない場面も見られ、素晴らしい交流があったことがうかがえました。団員は、金沢での思い出をたくさん持って帰国しました。

## イルクーツク市新体操選手団来沢

新体操ウインターフェスタに参加するため、2008年1月30日から2月4日の日程で、ユーリ・ヴォロンツォフイルクーツク市ズベルドロフスキー地区長(副市長)を団長とする選手団7名が来沢しました。一行は、演技会参加、金沢市長表敬訪問のほか、泉野小学校を訪れ、新体操をとおして児童との交流を深めました。また、兼六園などの市内視察も行いました。

## 提携40周年金沢市代表団派遣

日口沿岸市長会議(トピックス参照)の直後、イルクーツク市で開催される40周年記念事業に金沢市の代表が招待されたことから、友好の促進を図るため、8月24日から29日の日程で藤崎強副市長以下2名の代表団を派遣しました。一行は、イルクーツク市長表敬訪問、提携40周年記念式典と同展開会式等へ参加し、両市の絆をより一層固く結び付けました。

[日程概要]

- 8/24 金沢発(8/25 イルクーツク着)
- 8/26 市内視察など
- 8/27 提携40周年記念式典(ヨーロッパ・ハウス)
- 8/28 提携40周年記念展開会式  
(ロガリ記念市歴史博物館付属展示センター)
- 8/29 帰沢(8/28 深夜イルクーツク市発)

### Topics

## 「第21回日口沿岸市長会」に参加

2007年8月17日から24日にかけて、ロシア・ブラゴベシチエンスク市で、第21回日口沿岸市長会が開催されました。日本側からは9市、ロシア側からはイルクーツク市を含む9市の参加があり、本市からは浜田健一環境局長が出席しました。浜田局長は、会議において本市の環境政策に関する発言を行うとともに、同会議に出席したイルクーツク市のエカテリーナ・ボヤルキナ環境保護・安全局長と意見交換等も行い、両市の友好関係を深めました。

# ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



フォガサ市長との記念撮影

- 提携** 1967年（昭和42年）
- 人口** 144万人
- 面積** 470km<sup>2</sup>

ブラジル南部最大の都市で、リオグランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオデジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしていて、グウィーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

## 姉妹都市提携40周年 金沢市議会姉妹都市友好訪問団 訪問

2007年11月18日から20日にかけて、宮保喜一金沢市議会議員（金沢市姉妹都市交流委員会会長）を団長とする金沢市議会姉妹都市友好訪問団一行5名が、姉妹都市提携40周年を迎えるポルトアレグレ市を訪れました。一行

は、ジョゼ・フォガサ市長、マリア・セレステ議長を表敬し、40周年の節目を共に祝うとともに、今後の姉妹都市交流について有意義な懇談を行いました。

翌日には、ヨーロッパ風の古い建物が立ち並び、緑豊かで美しいポルトアレグレ市の街並みを視察しました。

来年度は、日本人ブラジル移民100周年の大きな歴史の節目にあたり、更なる友好交流が期待されます。

# アント 【ベルギー王国】



設置された微軫灯籠をバックに

- 提携** 1971年（昭和46年）
- 人口** 23万人
- 面積** 156km<sup>2</sup>

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「アント・フローラリア」は世界的にも有名。アント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。1816年創立のアント大学やアント美術館のほか、多くの博物館や旧跡があり、中でも、鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

## 微軫灯籠設置団を派遣

2007年8月4日から8月11日にかけて、笠井順二金沢市造園緑化協会会長を団長とする微軫灯籠設置団5名がアント市を訪問しました。一行は、姉妹都市提携35周年を記念し、昨年本市から贈呈された「微軫灯籠」（複製）を設置するため、アント市に派遣されたものです。灯籠は、アント市立現代美術館やアント美術館のすぐ側にある、アント城塞公園内のヘト・モールケン池に設置されました。天候には恵まれなかったものの、設置作業はアント市みどりの課と協力しながら

予定どおり行われました。工事期間中から新聞やテレビといった地元メディアに取り上げられたり、また工事の様子を見守る市民の姿も見られるなど、本市からの贈り物に対する関心の高さをうかがうことができました。

8月10日に行われた記念式典には、灯籠の設置団のほか、バルト・ロッソー助役やカテリナ・セーガス前助役、工事に関わったアント市職員、そしてアント市民も加わり、和やかな雰囲気のもとで行われました。ロッソー助役は、式典の中で「ベルギーに1つしかないこの微軫灯籠を大切にしていきたい」と挨拶しました。



# ナンシー 【フランス共和国】



ナンシー市からの交換留学生 ナタリー・ユザンさん (右)

- 提携** 1973年 (昭和48年)
- 人口** 10万人
- 面積** 15km<sup>2</sup>

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。現在は、学生数3万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や、音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場ほかの広場が世界遺産に指定されている。

## 35年目を迎えた留学生交換

1973年に姉妹都市提携をしてから続いている、ナンシー市と金沢市の留学生交換事業。ナンシー市からの17人目の留学生となる、ナタリー・ユザンさんは2006年10月から2007年9月までの1年間、金沢美術工芸大学で勉強しました。ユザンさんは陶芸や漆芸に取り組み、金沢美術工芸大学の学生と協力してビデオアートの交流事業やグループ展にも参加しました。また、日本の文化にも大変興味を持ち、伝統芸能である加賀宝生能についても学びました。

替わって昨年秋より、この交換事業35人目（金沢市からは18人目の派遣）の交換留学生となったのが中島千晶さん（金沢大学在籍）です。中島さんは平成20年6月までナンシー第2大学でフランス語やフランス文学について勉強する予定で、フランス語だけでなく文化の理解を深め、ナンシー市民にもっと日本の文化や金沢のを知ってもらえるように貢献したいと、新しい生活への期待を胸にナンシーへ旅立ちました。

## 2008年は日仏交流150周年、そして提携35周年

1858年10月に日仏修好通商条約が締結されて以来続いている、日本とフランスの交流の歴史は、2008年に150年という節目の年を迎えることとなります。それを記念して、姉妹都市提携もしくは友好関係を結んでいる日仏両国の地方自治体を集めての会議が、パリ市以外の地方都市で開催されることとなり、本市の姉妹都市であるナンシー市がその開催地に選ばれました。本市とナンシー市とで積み重ねてきた交流が模範的なもの

のであると評価されたことが開催地に選ばれた理由のひとつであるということでした。この会議は日仏交流150周年の記念事業として予定されている100を越えるイベントの中でも中核を占めるものの1つであり、現在、日仏それぞれで委員会が組織され、会議に向けて準備が進められています。また、2008年は姉妹都市提携35周年を迎える年でもあり、この会議に合わせて、提携35周年の記念式典等も行われる予定です。

### 日仏交流 150周年



日仏交流150周年記念ロゴマーク

日本とフランスからそれぞれイメージされる、着物とエッフェル塔をモチーフとし、日の丸とフランス国旗の青、白、赤を使ったものとなっています。

## 今後の美術館交流に期待！

2007年7月8日から翌9日にかけて、近藤恭代金沢21世紀美術館交流課長がナンシー市を訪問しました。

近藤課長は、2007年7月3日から7日までフランス・ナント市で開催された「日仏都市・文化対話」会議に大路孝之文化スポーツ部長と出席した後、姉妹都市であるナンシー市を訪れ、ヴァレリー・トマ ナンシー派美術館長やクレール・ストゥリグ ナンシー美術館長と面談し、美術館の運営等について意見交換をしました。その後にもう一つの姉妹都市であるゲント市も訪れ、地域社会との関係性、共同プロジェクトなどについてフィリップ・ヴァン・カウテレン ゲント市立現代美術館長と面談し有意義な懇談を行いました。

# 蘇州【中華人民共和国】



蘇州市代表団に託し金沢市の人間国宝・禅作家木村雨山の掛け軸を贈呈

**提携** 1981年(昭和56年)

**人口** 221万人

**面積** 1,650km<sup>2</sup>

約2500年前、「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。食の地としても有名で、「魚と米の里」と呼ばれているが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げ、2007年の中国国内の都市ランキングでもベスト10にランクインしている。

## 蘇州市代表団、本市の市民マナーを視察

2007年12月25日から27日まで、李生榮蘇州市監察局信訪室主任を団長とする蘇州市代表団5名が冬の金沢を訪問しました。一行は、藤崎強金沢市副市長を表敬訪問したほか、本市の市民参画課から「市民マナーの向上の取組について」と題する『マナーをよくするかなざわ市民会議』活動の紹介のレクチャーを受けるなど、短い滞在期間に行政視察や市内視察を精力的に行い、次なる目的地京都へと移動していきました。

## 蘇州市と北京市での卓球大会に参加

日中国交正常化35周年記念で、「日中文化・スポーツ交流年」にあたる2007年6月14日から19日まで、長澤博金沢市卓球協会会長を監督とし、市内のベテラン選手5名を含む7名が、蘇州市で開催された「第3回国際名人卓球クラブ招待試合」に参加しました。

また、同年8月1日から6日にかけては、清水潔石川県卓球連盟理事長を隊長に、市内の小学生選手男女各1名を含む4名が、北京市で開催された「日中友好都市小学生卓球交歓大会」に参加、蘇州市から参加の小学生選手団とペアを組んで出場しました。

# 大連【中華人民共和国】



ファッションウィーク総合開会式

**提携** 2006年(平成18年)

**人口** 590万人

**面積** 12,570km<sup>2</sup>

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長1,900kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、『ロマンの都』『北方の真珠』とも称えられるファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも大きな発展を遂げるとともに、郊外に位置する「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指す今日の大連市は、北東アジアにおける重要な国際航空センターと国際都市の建設に邁進している。

## 大連市代表団、ファッションウィークに参加

2007年10月15日から19日まで、ファッションの先進地である大連市から、趙亜平大連大学校務委員会主任・大連市議会副議長(当時)を団長とする訪問団5名が、「ライフ&ファッション金沢ウィークかなざわ

わごのみ2007」のオープニングに合わせて来沢しました。大連市からの参加は、2006年に引き続き2回目となり、今回は、海外からの唯一の招待者として、16日に金沢市長を表敬訪問したほか、同日夜の歓迎レセプションと、翌17日の総合開会式に出席するなど、式典に華を添えていただきました。

# 全州 [大韓民国]



「第6回金沢和紙工芸品交流招待展」オープニング

**提携** 2002年（平成14年）

**人口** 63万人

**面積** 206km<sup>2</sup>

「後百濟」の都で、千年余の歴史を持つ古都で全羅北道の道都。国宝の宝南門や韓式家屋の保存地区など歴史遺産を数多く残している。周辺は豊かな穀倉地帯で、韓国の「食と文化の里」として知られ、王朝料理やビビンバップなどの食文化、伝統音楽パンソリに代表される国楽の中心地である。「韓紙」「合竹扇」などの伝統工芸品のほか、国際映画祭・スポーツ大会などを通じ、国際都市としても発展している。また、2006年、韓国政府により「伝統文化都市」の指定を受けている。

## 全州市の職員、金沢の国際・文化・観光を学ぶ



藤崎副市長に帰国報告を行う許さん（右）

総務省などの支援を受け自治体職員協力交流研修員として、全州市西洞事務所で民願事務を担当している許員さんが、6月21日から11月30日までの約半年間、金沢市に滞在し、国際

文化・歴史的建造物整備・文化財保護・観光交流の各課、金沢国際交流・金沢芸術創造・金沢文化振興の各財団で、実務研修を受けました。

全州市からの研修生の受入は、今回の許さんで3人目となり、両市の友好を更に強固なものとする人的絆として、今後ますますの活躍が期待されます。

## “加賀水引細工の美”が全州市民を魅了！

2007年8月31日から9月5日まで、加賀水引の工芸職人である金沢市の平岡結納舗代表平岡洋子氏ほか市国際文化課職員2名が、全州市内の「校洞アートセンター」で開催された「第6回金沢和紙工芸品交流招待展」に出展・参加のため、全州市を訪問しました。

この展示会は、2002年の姉妹都市提携後、全州市の（社）韓紙文化振興院との間で毎年交互に双方の都市で開催しているもので、今回で6回目となりました。

会場を訪れた人々は、金沢伝統の「結納飾り」から現代の生活小物に至る計69点の水引作品による精緻な美を楽しむと共に、水引細工の制作実演を通して、両市市民のより一層の相互理解と友情の輪を拡げることができました。

## ようこそ！小学生交流団の皆さん！！

2007年11月21日から23日まで、金容周全州市完山小学校長を団長とする計16名の全州市完山小学校交流訪問団が金沢市を訪れました。一行は、市立菊川町小学校での交流会や給食体験、ホームビジット体験を通して親睦を深めると共に、金沢市長表敬訪問や市内見学なども行い、姉妹都市への理解を深めました。

## 金沢の食文化を韓国に向けて発信

2007年11月7日から12日まで、全州市内の華山体育館を主会場に開催された「コリアフードフェスティバルin全州」に市国際文化課の職員2名が参加し、金沢市のブースを出展しました。このフェスティバルは「全州ならではの味を世界へ、世界のグルメ達を全州へ」を掲げ、「味」をテーマに「全州 千年の味覚祭り」として初めて開催されたものであり、金沢市からは、金沢の文化や加賀料理をはじめとする「食」の特徴を展示パネル等にて紹介しました。また、試食用に用意した和菓子や日本茶があつという間になくなるなど、全州市民の「食」に対する関心の高さをうかがい知ることができました。

## 全州市議会代表団、百万石まつりを堪能

2007年6月1日から4日まで、両市議会間定期相互交流事業の一環として、鄭遇成全州市議会議長を団長とする全州市議会代表団一行16名が、第56回金沢百万石まつりに訪れ、百万石パレードの観覧や、加賀友禅とうろうながしなど、金沢独特の伝統文化の雰囲気を楽しみました。

# New Topics

## 真冬の美の競演!! 新体操ウィンターフェスタ in KANAZAWA 2008

世界一流の新体操選手を間近で見られる「新体操ウィンターフェスタ in KANAZAWA」が、今年度も2008年2月3日、金沢市総合体育館において開催されました。

本年は、ブルガリア選手団（団体）、姉妹都市ロシア・イルクーツク市選手団（個人）、全日本選手団（個人・団体）、そして地元の金沢市選手団が参加し盛大に開催されました。

今回は、2007年9月の世界選手権で7位となり、見事北京五輪への出場権を獲得した日本ナショナル選抜団体チーム（フェアリージャパンPOLA）が特に注目を集めたほか、各国の選手がそれぞれに素晴らしい演技を見せ、会場は大きな拍手に包まれていました。

なお、演技会に先立ち、海外からの選手団は、金沢市長への表敬訪問を行ったほか、市内小学校も訪問し、児童らとの交流を通じて、教育現場における異文化交流にも一役買ってくれました。

### 主な日程

- 2月1日（金） 金沢市長表敬訪問  
市内小学校訪問  
・泉野小学校（イルクーツク市団）  
・森山町小学校（ブルガリア団）
- 2月2日（土） 公開練習
- 2月3日（日） 新体操演技会



日本ナショナル選抜団体チーム

## 国際交流まつり2007

今年で15回目を迎えた「国際交流まつり2007」は、9月29日、30日に金沢市役所庁舎前広場にて開催されました。金沢で暮らす外国人市民の人数も年々増加していることから、今年のまつりのテーマ「つながる」をもとに、共に金沢に暮らす日本人市民と外国人市民が、出会い、交流できる様々な企画や、世界を身近に感じられる多彩なブースやステージなどが実施され、例年以上に会場全体が一体となって盛り上がりました。



会場全体が一体となったステージ

## 『本町こどもスクエア』オープン!

金沢国際交流財団の『本町こどもスクエア』が4月1日、ついにオープンしました。同財団事務局の入る本町・リファーレベルの2階フロアに位置し、各種イベントや展示会の開催、情報提供の場として広く市民に活用されています。プレイベントでは、金沢市国際交流員のケイティ・ラブグローブさんが、アメリカで人気の絵本と歌を紹介し、参加した子供たちとの交流を深めました。

## 外国人市民の視点で作る! 『金沢生活ガイド』発行!

金沢市は、金沢国際交流財団および本市在住の外国人市民ボランティアと協働で、外国人市民のための「金沢生活ガイド」を発行いたします。作成にあたっては、外国人市民の視点を取り入れながら、必要な情報を分かりやすく提供することを心がけています。このガイドブックが、同じ地域に住む日本人・外国人市民が交流するきっかけとなり、お互いに暮らしやすい金沢のまちづくりにつながることを期待しています。「金沢生活ガイド」は、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の4カ国語で作成され（日本語併記）、市役所1階の市民課・国際文化課、金沢国際交流財団などで無料で配布されます。

# 国際交流ダイアリー

## 4・5・6月

- 4月 6日 ジョウジュ ショウワマン だんいっこう らいほう  
 4月 6日 全州市少年サッカー団一行 来訪
- 4月 13日 ニューヨーク州立大学バッファロー校学長一行  
 来訪
- 4月 13日 ちゅうごく うち ちゅうごく うち じちく アラジャンヌ だいい じっけんしょうがっ  
 4月 13日 中国・内モンゴル自治区阿拉善左旗 第2実験小学  
 校訪問団 来訪
- 4月 18日 ナンシー市を中心とする国際ロータリー (第1790  
 地区) 専門職能研究グループ一行 来訪
- 4月 23日 ちゅうごく だいい かんじん こんごう せうりゅう じ かん せうりゅう じ らいほう  
 4月 23日 駐新潟大韓民国総領事館 総領事 来訪
- 5月 14日 ちゅうごく ちゅうし ちゅうし ちゅうし しゅせきこうし らいほう  
 5月 14日 駐日フランス公使・駐日ドイツ首席公使 来訪
- 5月 25日 ちゅうごく ちゅうし きょうわ こくともいせんけんたいし らいほう  
 5月 25日 駐日ハンガリー共和国特命全権大使 来訪
- 6月 1日 ひやくまんこく かなざわじょう ひろぼしおまつり  
 6月 1日 「百万石まつり」金沢城おまつり広場出演
- かんこく れいざんぐんほうもんだんいっこう らいほう  
 韓 国・禮山郡訪問団一行 来訪
- 6月 18日 へいせい ねん ぞ ちゅうごくきょういふん や せいねんけんしゅうせいいっこう  
 6月 18日 平成19年度JICA中国教育分野青年研修生一行  
 来訪
- 6月 28日 ジョウジュ し せいせうきょうせい し かつだん らいほう  
 6月 28日 全州市清掃行政視察団 来訪

## 7・8・9月

- 7月 4日 べいこく ニューヨーク きょういくかんけいしゃ らいほう  
 7月 4日 米国ニューヨーク教育関係者 来訪
- 7月 4日 こくさい いしかわ  
 「国際ハートエキスポ2007石川」  
 ハートエキスポ・フレンドシップ訪問団 来訪
- 7月 6日 べいこく し ちゅうごく ちゅうし ちゅうし ちゅうし ちゅうし ちゅうし ちゅうし  
 7月 6日 米国シアトル市エクスタイン中学校交流研修訪問  
 団 来訪
- 7月 18日 ライオンズクラブ国際協会 青少年交換プログ  
 ラム参加青少年 来訪
- 7月 27日 かなざわ にちゅうゆうこう とひら そしゅう ほうもんだん しゅうぱつあい  
 7月 27日 「金沢JC日中友好の扉in蘇州」訪問団 出発  
 挨拶
- 7月 27日 ジョウジュ し じゅうどうかいやくいんいっこう らいほう  
 7月 27日 全州市柔道会役員一行 来訪
- 8月 21日 ロータリークラブ・ベルギー短期交換留学生一行  
 来訪
- 8月 22日 かなざわ し せうちゅう れんめい だいい かいかんこくジョウジュ  
 8月 22日 金沢市早朝ソフトボール連盟 第8回韓国全州ソ  
 フトボール交流友好訪問団 出発挨拶
- 9月 6日 せいびく が ぼくすいかい ジョウジュすいぼく が こうりゅう たび しゅう  
 9月 6日 水墨画北水会「全州市水墨画交流の旅」訪問団 出  
 発挨拶

- 9月 7日 かなざわこうりんぼう  
 9月 7日 金沢香林坊ロータリークラブ-バッファロー・  
 サンライズロータリークラブ姉妹提携10周年記  
 念訪問団 出発挨拶
- 9月 11日 こくせい ふ かんこうちゅうほうもんだん らいほう  
 9月 11日 タイ国政府観光庁訪問団 来訪
- 9月 20日 かなざわ し しゅうしんせいねんかいがいきょうりょくたいいん しゅうぱつあい  
 9月 20日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶
- 9月 29日 こくさいこうりゅう かなざわこくさい い こうりゅう  
 「国際交流まつり2007」にて金沢国際囲碁交流  
 協会が全州市囲碁協会との間でインターネット  
 親善対局

## 10・11・12月

- 10月 5日 かなざわ し しやかいふくしきょうき かい ジョウジュ し しやかいふくしきょうき かい  
 10月 5日 金沢市社会福祉協議会 全州市社会福祉協議会  
 交流研修訪問団 出発挨拶
- 10月 12日 ちゅうごくたいし かんじよせいがいこうかん らいほう  
 10月 12日 中国大使館女性外交官 来訪
- 10月 12日 そしゅう し せいねんれんこうかいほうにちだん らいほう  
 10月 12日 蘇州市青年連合会訪日団 来訪
- 10月 23日 だいいん しりょうねい し はんたいがくほうもんだん らいほう  
 10月 23日 大連市遼寧師範大学訪問団 来訪
- 10月 30日 ナンシー・ロレーヌ仏日協会訪問団 来訪
- 11月 5日～8日 ようか ジョウジュ し ちゅうボクにつほう きしや らいさわ  
 11月 5日～8日 全州市「全北日報」記者 来沢 (フードピ  
 ア・加賀料理・加賀野菜の取材)
- 11月 9日 かなざわだいいがくだいいがくいん い がくはいけんこう かい い がく 部 ジョウジュ し  
 11月 9日 金沢大学大学院医学系研究科 (医学部) 全州市  
 全北大学訪問団 出発挨拶
- 11月 21日 ちゅうごくちゅうな こ や せうりゅう じ らいほう  
 11月 21日 中国駐名古屋総領事 来訪
- 11月 28日 そしゅうにつほうしやほうもんだん らいほう  
 11月 28日 蘇州日報社訪問団 来訪
- 11月 29日 ざいおおきか こうべ れんほうちゅうわ こくせうりゅう じ らいほう  
 11月 29日 在大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事 来訪

## 1・2・3月

- 1月 17日 だいいん こうきょうだいがくほうもんだん らいほう  
 1月 17日 大連工業大学訪問団 来訪
- 2月 22日 し だいいちゅうだん らいほう  
 2月 22日 ナント市代表団 来訪
- 3月 17日 れんほうちゅうわ こくたいし かん けいざい が かくたんとこうし  
 3月 17日 ドイツ連邦共和国大使館 経済・科学担当公使  
 来訪
- 3月 21日 かなざわ し しゅうしんせいねんかいがいきょうりょくたいいん しゅうぱつあい  
 3月 21日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶
- 3月 21日 ちゅうか じんみんきょうわ こくたいし かん きょういくたんとこうし らいほう  
 3月 21日 中華人民共和国大使館 教育担当公使 来訪

# 国際交流員の一年

## デイビッド・クレカ (アメリカ)



デイビッド大地に立つ！2007年8月、手袋の形をしたアメリカ・ミシガン州より参りましたデイビッドです。ミシガンは、五大湖や多くの緑に囲まれた自然豊かなところです。また、自動車生産地として有名なデトロイト周辺には日本人も多いため、日本語の教育に優れた地域です。よって私は寿司と漫画で育ち、国際交流員として金沢に降り立つこととなりました。私の仕事は、主に翻訳や通訳、英語圏の方々のサポート、姉妹都市との連絡業務やアテンド、また、学校訪問や文化紹介など多岐に渡ります。

金沢の人は少し用心深いと聞いていましたが、とても親しく話しかけてくれて、すぐに金沢に馴染むことが出来ました。今では金沢弁もだいぶ覚えしました。知人も多くでき、町に出かけるたびに、知り合いやお店の人に声をかけられほっとします。音楽（ベース）やホラーが好きな人だったら、気軽に私に声をかけてください。

長町の自宅から香林坊までを用水沿いに歩くのは、とても心地良い気分です。毎日通る中央小学校隣の小橋からの鞍月用水の眺めは、かの北斎さんも懂れるでしょう。桜が咲いてくると、私の大和魂が燃え上がるのは確実で、今から興奮を覚えています。

## 矢吹鈴木 メリッサ (ブラジル)



OLA PESSOAL! 皆さん、こんにちは！金沢での生活を始めてから、もうすぐで二年が経とうとしています。今の金沢は冬。ブラジル人としては今でもなかなか慣れない季節です。どんよりとした曇り空、しんと降りしきる雪と雨、そして冷たい風が吹く中での通勤…。特に辛い朝のゴミ捨ては、北国の厳しさを身にしみて実感する瞬間でもあります。

そのような中、昨年一年は、季節ごとに様々な場所を訪れることができました。母との長野への温泉旅行、母国の友達との冬の知床旅行、そして同僚との沖縄旅行など、たくさんの思い出を作れたことに感謝しています。日本の面積はブラジルの23分の1ですが、こんなに小さな国でも、各地域に独自の魅力があふれていることを感じました。日本のように気軽に旅行をし、違った風景や気候を味わうことができるのは、本当に恵まれていると思います。

最近では、旅行先から、金沢の自宅へ戻ると、まるで自分のブラジルの実家に戻るような感覚になります。いつのまにか金沢は私の第二の故郷になっていたのです。

今年一年、金沢の町をもっと探索し、新たな気持ちで金沢の文化や歴史、そして金沢の人々と触れ合いたいと思っています。皆さん、今年もどうぞ宜しくお願いします。

## ソフィー・ボックラント (ベルギー)



皆さん、こんにちは！この一年、金沢市の国際交流員として本当に素晴らしい年を過ごしました。

仕事面では、チャレンジの多い年になりました。様々な学校訪問や講座でベルギー文化を紹介し、市民の皆さんとの交流を深めました。また、去年は、ベルギーで総選挙があり、日本のニュースにもなったので、ベルギーの複雑な政治制度や言語事情などを説明する機会も多かったです。市民の皆さんがベルギーチョコとワッフルだけではなく、私の小さい国の政治にも興味を持ってくれているのを知り、大変嬉しかったです。一番思い出に残っている仕事はアントワープ市への出張です！金沢市とアントワープ市の姉妹都市提携35周年を記念し、アントワープ市に贈呈されたことじ灯籠を設置するため、昨年8月、4人の造園専門家と一緒にアントワープ市へ行きました。自分の町でホテルに泊まるという、大変珍しい経験ができました！皆さんもアントワープ市を訪問する機会があれば、是非アントワープ中央公園に行ってみてくださいね。

プライベートでも、旅行がいっぱいでき、最高の年になりました。また、妹が来日し、やっと趣あるきれいな金沢を案内できました。今年も皆さんにとって素晴らしい一年になりますように！

## 金 秀璟 (韓国)



皆さん。アンニョンハセヨ。北陸らしい厳しい冬もだんだん暖かくなり、いつの間にか春の気配が忍び寄る今日のごろです。特に寒がりの私にとっては春の桜の季節が楽しみです。金沢での生活が残り僅かになってきたので心残りなかがりです。

この2年間、金沢で国際交流員という仕事ができただけは私にとって非常に大切な経験であり、一生忘れられないことになりました。2年という期間は大変短いですが、金沢の魅力を存分に味わえ、充実した時間を送ることができました。

日本語の中で、「木漏れ日」や「趣」など好きな言葉がいくつもあります。一期一会もその一つです。私が金沢で得た一番大切なものは、人とのご縁だと思います。日本での生活は、以前千葉での留学時代に経験したことがありますが、仕事のために、かつ一人暮らしをしたのは金沢が初めてでした。最初はとんでもない間違えも多く、周囲の人々を驚かせてしまったこともありましたが、皆さんのおかげで徐々に慣れることができました。職場の皆さんをはじめ、いろいろな機会を通して出会った市民の皆さんにも感謝を申し上げます。

カムサハムニダ。



第34号 (2007年度)

発行 金沢市姉妹都市交流委員会  
事務局：金沢市都市政策局国際文化課  
TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069  
E-mail : bunshin@city.kanazawa.ishikawa.jp